

## だんじり会館のあり方等の最終答申に関する意見集約シートまとめ

No.	頁・行	該当部分	委員の意見	答申への反映の有無	加除修正にあたっての留意点
1	1頁/2段落3行目	(…省略…) 開館から <u>35年</u> が経ち、(…省略…)	答申をする時期は5月なので、「開館から <u>36年</u> 」とするべき	そのまま反映させる	
2	2頁/1段落12行目～	また、これらの内部（地元住民）の風土醸成には、 <u>学校教育との連携を通じて幼いころから「生活の中に文化がある」状態をより強めていく</u> ことが重要であると考えます。	「文化が中心である」というメッセージを伝えたいのであれば、他市の「観光教育」の取組事例を参考にして、「また、これらの内部（地元住民）の風土醸成には」という文章に <u>「地元へのシビックプライドを持つ」「地域への誇りの醸成」という要素を盛り込むべき</u> 。	そのまま反映させる	
3	2頁/2段落1行目～	行政の関与については、前述のとおり、まずは、祭り町の人々による自発的・主体的な機運が醸成されていることを前提に、それを市全体として共有することを目的として、 <u>文化振興、文化財保護、地域振興、教育、生涯学習など各部署が横断的に連携し取り組んでいくべき</u> です。また、文化や祭りには、その姿を見てもらうことにより成立する要素もあることから、 <u>外部（地域外）への働きかけ（情報発信、観光誘客）は、行政の各部署が地域と連携して取り組むべき</u> 事の一つであると言えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「市全体として共有することを目的として、<u>文化振興、文化財、学校教育、生涯学習など各部署が横断的に連携し</u>」、「<u>情報発信は広聴広報が、観光誘客等は、地域創生、観光振興、中心市街地推進の各部署が地域と連携して取り組むべき</u>」事の一つであると言えます。」とするべき。</li> <li>1頁第1段落にもあるように、<u>行政の関与は文化振興だけでなく、観光振興の意味合いも強くあるべき</u>だと思います。下から2行目の書きぶりの修正だけでなく、下から5行目にある<u>各部署が横断的に連携して取り組んでいくという部分が全体にかかるような記述を望みます。</u></li> </ul>	文言を一部変更し反映させる	<p>上段は、<u>行政分野の中でも文化施策を担当している部門を列挙し、直後に「などを担当する」という文言を加筆</u>しました。祭り文化の振興に関する業務は住民自治及び地域振興で担当しているので、<u>「地域振興」の文言は残しました</u>。</p> <p>下段は、<u>情報発信及び観光誘客については、特定の部署に限らず、行政の各部署が横断的に地域と連携し行っていくべきなので、関連する部門を列挙</u>しました。</p>
4	2頁/2段落3行目 3頁/1段落6行目 6頁/1段落2行目	文化財の <u>保全</u> 文化財 <u>保全</u>	文化財保全という言葉は一般的ではないので、「 <u>文化財保護</u> 」という言葉に修正すべきと考えます。ちなみに「保護」とは「保存と活用」をさします。	そのまま反映させる	
5	3頁/1段落2行目、5行目	<u>幕など</u> <u>引退幕など</u>	上から5～6行目にあるコストの問題は、引退幕だけの問題ではありません。したがって、上から2行目の「 <u>幕など</u> を「 <u>幕や面など</u> 」に、上から5行目の「 <u>引退幕など</u> 」も同じく「 <u>幕や面など</u> 」に修正した方が、全体を包括できると考えます。	そのまま反映させる	
6	4頁/1段落3行目	(…省略…) 有形文化財の保存・展示には、文化財保護の観点からそれぞれの材質や種類に合わせた適切な <u>温度や湿度</u> の管理が必要です。	文化財保護の観点からは、温度や湿度だけではなく、照度も重要なファクターであること、またこれら以外にも、専門的な知識を有する職員の配置や防火・防犯の体制の整備なども必要であるので、「温度や湿度、照度など」と修正すべきと考えます。	そのまま反映させる	
7	4頁/3段落1行目	これらを総合的に鑑みると、文化財的価値のある有形資料の展示を検討する場合は、 <u>レプリカによる代替</u> も検討するべきです。	レプリカの表現は適切ではなく（文化財保護の観点から言うと、「復元新調」となり、費用もかかります）、他の手法（展示方法や照度の管理、適切な展示期間の管理など）もあるため、「 <u>文化財的な価値に配慮した様々な手法を検討</u> 」と表現するほうが、望ましいと考えます。	そのまま反映させる	
8	4頁/1段落12行目	(…省略…) <u>学芸員</u> による企画展示や解説などを通じて、(…省略…)	学芸員資格の有無に関わらず、だんじり文化やその背景をきちんと解説ができる人が必要なので、他所でも使用している「 <u>学芸員等</u> 」に文言を統一させるべき。	そのまま反映させる	
9	5頁/3段落4行目	(…省略…) <u>文化振興</u> に貢献していくことが望ましいと考えます。	2頁でも述べましたが、だんじり会館のような施設は、文化振興だけではなく、観光振興の視点も重要であると考えますので、「 <u>文化振興や観光振興に貢献</u> 」と表記すべきと考えます。	そのまま反映させる	<p>ダンジリ行事の維持・継承において「文化振興」及び「観光振興」の両軸の視点が重要であることから、双方を併記しました。</p> <p>また、同義の文章（5頁/2段落3行目、6頁/2段落4行目）も同様に修正しました。</p>
10	6頁/3段落4行目	(…省略…) 他の公共施設や観光関連施設等の機能を <u>補完し</u> 、(…省略…)	2頁、5頁でも述べましたが、全体として観光の関与が弱いと感じます。この頁は結論でもあるので、「 <u>補完</u> ではなく、しっかりと「 <u>機能とも連携させて</u> 」という表現に修正すべきと考えます。	文言を一部変更し反映させる	<p>既定（既存）の機能同士の結びつき」を強調する「連携」という文言に加え、ここでは、「他の公共施設や観光関連施設等に（今は無いが）新たに求められる機能を補う」ことを強調する「補完」という文言も必要であるため、<u>双方を併記し、「補完あるいは連携しる」と修正しました</u>。</p>